広島安佐ロータリークラブ
MONTHLY REPORT

イマジン ロータリー

＜本年度会長テーマ＞　『 皆で手を取り合おう、ＤＥＩの下で 』

例会日／毎週木曜日　　例会場／リーガロイヤルホテル広島
会　長／岡本　忠文　　幹　事／横手　裕康

Vol.611

2022年10月6日（木）　第1043回例会

3階　安芸の間

会長時間

本日は10月6日。今月より神無月です。

本日のゲスト卓話は、日本経済新聞社　広島支局　支局長　長沼　俊洋　様です。１９７０年愛知県豊川市生まれ。１９９３年東大教養学部卒、日本経済新聞社入社。産業部、流通経済部などに在籍。大阪経済部副部長、法務報道部担当部長を経て２０２１年から広島支局長として活躍されていらっしゃるという事ですが、詳細は後程三宅会員より説明して頂きます。

尚、演題は「広島経済と日経報道」となっております。本日も卓話を楽しみにしておりますので、宜しくお願い致します。

さて、10月は、ロータリーの「経済と地域社会の発展月間」です。仕事があっても１日１ドル25セント未満の生活を送る人々が全世界で14億人いると言われている中で、ロータリアンはこうした人々に生産的かつ十分に仕事の機会をつくり、経済と地域社会の発展を目指す奉仕プロジェクトを実施しており、これがロータリーの7つの重点分野の一つとなっています。貧しい地域で、特に女性をはじめ、地元起業家や地域リーダーの育成を応援する。ロータリアンは「人」に投資し、地域社会や人々の暮らしに持続可能で測定可能な改善をもたらし、地域社会の経済発展を促すため、「貧しい地域社会の経済発展を促すための人々の能力・スキル向上」「生産性の高い仕事の創出」「支援が行き届いていない地域社会での貧困の削減」「経済と地域社会の発展に関連した仕事で活躍していくことを目指す専門職業人のための奨学金支援」など、世界の各地でさまざまな取り組みを実施しており、そのための資金として、ロータリー財団の地区補助金やグローバル補助金を利用することができます。特に、グローバル補助金は、持続可能で大規模かつ国際的なプロジェクトを行うことができます。

是非、私たちもグローバル補助金が活用できる活動をしていきましょう。

更に、10月24日は世界ポリオデーです。ポリオエンドに向けた活動も併せて行いたいと思います。

また、日本独自の月間目標として10月は「米山月間」となっております。ロータリー米山記念奨学会は、将来奨学生達の母国と日本との懸け橋となって国際社会で活躍する優秀な留学生のための奨学事業です。この月間に因みまして、米山奨学事業の意義を深く認識して頂くために、１０月は米山奨学生や地区委員からの卓話をお聞きしたいと思っております。

以上で会長時間を終わります。

「来賓卓話」
～広島経済と日経報道～

日本経済新聞社
広島支局長　長沼　俊洋　様

日本経済新聞は電子版を中心とした「デジタルファースト」の姿勢を打ち出しています。ネットの普及によりメディアはニュースの独占的な供給者ではなくなりました。弊紙は解説記事やデータ分析などニュースをより深く掘り下げることで付加価値を付け、読者に興味を持ってもらえるよう努力しております。

広島経済に関する報道にあたって重視しているのは２つ。１つは地元中堅企業の動きに関する継続的な報道に力を入れることです。１９９５年に弊社が刊行した『中国地方の中堅１５０社』という本があります。広島の会社が５３社掲載されておりますが、このうち倒産した会社はごくわずかしかありません。大半が生き残り、いまだに地域の中堅企業でありつづけております。これらについては今後も手を抜かずに報道していきたいと考えております。

それからもう１つ重視しているのは地域の成長のきっかけとなる動きをつかむことです。例えばスタートアップ育成はその一つの手段。広島県では今後１０年間で大型スタートアップ企業「ユニコーン」を１０社生み出す計画を打ち出したが、楽観的な印象は否めません。

ただ、同じく広島県が手掛ける、東京などのスタートアップが自社の事業を実現するための実証試験の場として県内を使うのに補助金を出す「ひろしまサンドボックス」は面白い試みです。スタートアップの事業は東京だけでは完結しません。今後の成果が期待されます。それからＩＴ企業のなかには会社を交流の場として「サークルの部室」のように使おうとする動きもあります。これらならば自然が豊かで、田舎すぎない広島には大きなチャンスがあります。引き続き注視していきたいと思っております。

ニコニコ箱

￥33,000　　累計￥194,000

会員記念日（10月）

☆お誕生月おめでとうございます

・三宅　恭次会員（S19.10.3.）

・岡田　哲也会員（S46.10.11.）
いよいよイチローの背番号と同じ年令になってしまいました。イチローのように記録にも記憶にも残る功績を残したいと思います。次は松井の背番号になるまでに何かしら形にしたいと思います。

・岡本　忠文会員（S27.10.11.）

☆結婚記念月おめでとうございます

・野村　裕芳会員(H21.10.10.)

・松岡　與吉会員(S45.10.11.)
色々と思い出しました。

☆入会月おめでとうございます

・横手　裕康会員(H30.10.25.)

☆創業月おめでとうございます

・黒田　七郎会員（㈱クリーン技研：H7.10.6.）

・三宅　恭次会員(㈱中国放送：S27.10.1.)

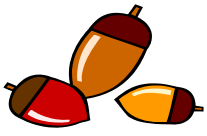
・坂井　信教会員
(㈱阪急交通社広島支店：S47.10.1)

・横手　裕康会員
(ワイアンドジー社会保険労務士：H29.10.31.)

☆岡本　忠文会員・横手　裕康会員
長沼様、本日はようこそ広島安佐RCへお越し下さいました。会員一同、心より歓迎いたします。本日の卓話、楽しみにしております。

☆三宅　恭次会員
本日のゲスト、日経長沼支局長様、卓話を楽しみにしています。

☆青木　幹丸会員
ご存じの方も多いと思いますが、昨日サンフレッチェ広島は京都サンガを破り見事天皇盃決勝に駒を進めました。決勝戦は16日に横浜で開催されますが、仕事のため観に行けません。しかし、22日に新国立で行われるルヴァンカップ決勝にもサンフレは進出しておりますので、そちらへは家内と参戦するつもりです。両方勝てば賞金が3億円です。頑張れ！サンフレッチェ！また、今日は禁煙して20周年目にあたりますので、少し奮発します。



今日の例会から、コロナが減少傾向になったためかどうかわかりませんがテーブルが４から３になりました。席もほぼ満席のような･･･。

「なんか会員が増えたような感じがするね」と。

一般社会では今月から下半期あるいは後期入りです。それだけに行事も入ってきており、ロータリー２７１０地区も１０月１５日－１６日は周南市で地区大会が３年振りに行われます。

１０月第一週ということで今月誕生日を迎えた会員及び奥様、創業月を祝って乾杯とバースデーソングでスタートしました。

本日のニコニコのハイライトは青木会員の、サンフレッチェの天皇盃とルヴァン杯決勝進出を祝ってのもの、大枚をドネーションされました。青木会員によりますと、両方とも勝ち上がりますとサンフレに３億円が入るそうで、ルヴァン杯の決勝は東京まで観に行かれます。さすが“サッカーフリーク”です。

そこで思いだすのが卓話ゲストで来てくれましたサンフレの社長仙田信吾さんの話。サッカービジネスの収益構造は当然のことながら、入場料やグッズ販売がありますが、それよりもリーグ戦やトーナメントで上位に進出することによる報奨金、それに選手の流動性が高いスポーツのため移籍に伴う収入。つまり育成して欧州などのビッグクラブへ移籍させれば高収入が得られる、これがサッカービジネスです。

卓話時間は日経の長沼支局長による「広島経済と日経報道」です。

長沼さんは愛知県の出身、東大卒業後日経に入社。主に産業部や流通経済などの分野で記者として活躍、本人曰く「広く浅くやってきたが株式など相場物は苦手」とのこと。

「私は話をするのが得意でないので、出来るだけ講演は断わっている」と仰っていましたが、なんのなんの３０分中身の濃い話をしてくださいました。

「広島経済」をメインにすると２，３分で終わるので、日経の情報発信の現在を話しますとの前置きをして･･･、

業界の現状について「まず新聞が読まれなくなったため発行部数の減少傾向、さらにはネットを通じて記事への批判が多くなっている。これは全てネットの普及によるもの」「日経は早い時期から電子版に力を入れてきたが、どうしても『紙優位』の発想が捨てきれなかった。しかし、ネットの普及に抗しきれず、ここ数年次第に電子版が優位になってきている。その結果、ニュース発信がスピードアップしてきた。一方、紙は『一覧性の価値』は低下するなか解説記事に力点を置いてきている。以前、特ダネは朝刊で“抜く”原則があったが、今は『紙』を犠牲にする形になるが、イブニングスクープとしてネットに夕方に出している」。

かつて新聞記者はお昼頃から動き出し夜遅く帰宅するのがパターンだったのが今や一般サラリーマンと変わらない「９時－５時」に近い勤務になっているとのこと。

媒体の紙から電子へのシフトと新聞の中身の変化があることを話されました。

広島支局の役割としては

広島の企業で一面に記事になるのはほぼ「マツダ一社だけ」なので、支局としては地場の中堅企業のニュースを継続的にフォローすることと地域経済成長の芽となるようなところに焦点を当てて取材している、とのこと。

来年の広島サミットの経済効果については「広島はすでに観光地として知られており、サミット効果には疑問がある」と結ばれました。

なお、例会では安佐クラブが継続して行っている「タイ女児就学支援」に対して、広島日タイ友好協会から礼状が届いた旨の報告がありました。

（三宅　恭次会員）

10月6日（木）　第 1043　回

本日のプログラム

「来賓卓話」

～広島経済と日経報道～

日本経済新聞社広島支局

支局長　長沼　俊洋　様

幹事報告

1．BOX配布物
- ガバナー月信10月号とロータリーの友
- 米山記念奨学事業豆辞典（2022-23年度版）
- タイ女児就学支援金のお礼状
- 安佐RCの名刺

2．例会変更
- 広島安芸RC「広島東RCとの合同夜間例会」
  と　き：10月18日（火）18:30～　※同日変更
  ところ：ホテルグランヴィア広島４F 悠久
  ※広島東RCは10月19日（水）からの例会変更

3．休会
- 10月11日（火）広島RC・広島西南RC・広島安芸RC
- 10月12日（水）広島陵北RC

4．お知らせ
- 次週（10/13）は休会です。
  次回例会は10/20(木)18：00からの「崇徳高校IACマナー講習夜間例　会」となっております。
- 10/15（土）地区大会　会長幹事会、10/16（日）地区大会　本会議にご出席の方は、プログラムと当日の詳細についてのご案内を配布しておりますので、ご確認ください。

タイの女児就学支援を始めて12年目となりました。
広島日タイ友好協会様よりお礼状が届きましたので、ご紹介いたします。

広島安佐ロータリークラブ様

拝啓　初秋の候、日中はまだ残暑が厳しいですが、朝晩は過ごし易い気候になってまいりました。

貴会の皆様におかれましては、ご清祥のことと 心よりお慶び申し上げます。

またこの度は、当会に対しまして、ご浄財をご寄付下さり、誠にありがとうございました。広島安佐ロータリークラブ様からは、毎年の様にご寄付を賜っており、本当に有りがたく、衷心より感謝・御礼を申し上げます。

ご寄付下さいましたご浄財は、当会が行っております『学資援助事業』に充てさせていただきます。

近年 タイは経済成長を遂げ、東南アジアの中心的な国にまで発展しました。しかし、経済成長の恩恵が少ない農村部などでは、貧困の為、学校に十分に通えない子供たちが未だに数多くいます。貧困家庭の男の子は労働者となりますが、女の子は多くが未成年の売春婦となります。自らの意思ではなく、親が娘を斡旋業者に売り、バンコクなどの都市部やパタヤなどのリゾート地で働かせます。

私たちは「中学校までは卒業し、より良い職に就き、立派なタイ国民になって欲しい。」との願いで、貧困層の女子児童たちに学資援助を続けています。当事業は皆様からのご寄付で成り立っており、これまでに援助しました人数は２０００名を超え、多くの女子児童たちが中学校に進学する事が出来ました。これも偏に皆様の善意のお陰と、感謝の念に堪えません。これからも当事業にご協力を賜りたく、心よりお願い申し上げます。

令和２・３年度は新型コロナウイルスの世界的流行に伴い、タイへの渡航が出来ない為、タイの関係機関に学資援助金を渡せていませんでしたが、この度、約３年ぶりに当会役員の渡航が叶い、ご寄付いただいておりましたご浄財を渡してまいりました。今後もコロナの状況を見ながら事業を進めてまいりたいと思っております。

末筆ながら、貴会の益々のご発展と、会員皆様のご健康とご多幸を祈念し、略儀失礼ではございますが、書中にて御礼のご挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。　敬具

令和４年９月吉日

広島日タイ友好協会　会長　鈴 木 章 純

出席報告　第1040回　9月1日

会員数 19名(内免除1名)　出席率88.89%

出　席	15名	ご来賓	1名
欠　席	4名	ご来客	0名
ﾒｰｸｱｯﾌﾟ	1名	ゲスト	0名

2022年10月20日(木)　第1044回
崇徳高校IACマナー講習夜間例会
3階　瀬戸の間

会長時間

幸福は口福から

・食事は心の栄養・・・人間は食べたもので出来上がっています。元気の元、健康の源の大部分は「食」です。そして食事は人生最大の楽しみ一つでもあります。

食味学の始祖ヴリア・サバランの著作であり、世界食通のバイブルとされている『美味礼賛』の中から一部紹介しましょう。

“一つの新しい料理の考案は、人類にとって一つの天体の発見に勝る“

“どんなものを食べているか言ってみたまえ。君がどんな人であるかを言いあててみせよう”

“胸につかえるほど食べたり、酔っぱらうほど飲んだりするのは、食べ方も飲み方も心得ぬ人のすることである“

“グルマンディーズ（美食家、うまいもの好き、食道楽）とは、特に味覚を喜ばすものを情熱的に理知的にまた常習的に愛する心である。暴飲暴食はグルマンの名簿から締め出される”

“グルマンディーズこそ皆を1つにまとめ、会話をはずませ、陽気な気分を伝播させる。それはもてなす側の協同作業でもある”　と。

それぞれ見事に食文化を表現していますね。

・語源から理解しよう・・・シンポジウムとはもともと古代ギリシャ語です。“シン”は「共に」

“ポジウム”は「飲食」を意味します。つまり宴会。“コンパニオン”はラテン語で

「パンを分かち合って食べる間柄」を意味します。漢字の“和”は、稲、稗、穂等の穀物を口一杯頬張った表情や風景から生まれています。古今東西、日常何気なく使用している言葉に、食文化の長い歴史が色濃く残っています。

・**食はコミュニケーション・・・**食事は愛、団らん、触れ合い、付き合い、分かち合い、もてなしの場。

レストラン（食卓をイメージしてもＯＫ）は料理と自分を演出する舞台です。どんな食材を選び、調理し、盛り付けるか。どんなお客様に、どんな会話でもてなし、どんな花を飾り、どの食器・グラスを使ってどんな音楽を聴いて頂きながら何を飲んで頂こうかと、夢のある食空間をデザインしていく。これによってコミュニケーションを円滑にする事ができます。

・**迫り来る超高齢化社会**･･･幸福な福祉社会の構築

（大福・福の神・福引き・福袋・福豆等）

福の字の右側を分解「一口田ネ」と読める。江戸時代、寺子屋では「一口の幸せに感謝し、よく噛み締め、深く味わって食べましょう」と繰り返し言ったそうです。

多くの病気は、口から入ってきます。一口に気をつけ、一口を馬鹿にせず、食がショックにならないよう吟味したいものです。

最後に、口には“入れる食”と“出す言葉”があり、両方ともに安心と安全圏を守る事が大切。

昨今の日本経済は、社会の流動化と、高齢化、少子化、労働力不足、雇用不安、フリーターの増加、海外競争力の低下等“悲観論”が支配的なせいか、口を開けば、人をけなす、腐らす、萎えさせる、陰口をたたく場面が多く見られます。

いじめは、言葉の暴力から始まります。

“食”同様、言葉も選ばなければなりません。人を褒める、喜ばせる、ときめかせる、もてなす、励ます、勇気づける、ワクワクさせる『コトバ』を使うことが大切です。

良口コミュニケーションを心がけましょう。

心身の健康づくりは口福からです

ある調査で21世紀女性が憧れる21世紀男性像は①たばこを吸わず、強い酒は呑まない②お腹が出ていない（健康管理に熱心）③料理がうまい（健康管理ができる）④性別で人を区別、判断しない⑤妻のお産や育児に手を貸し、家族とのコミュニケーションを怠らない　となっていました。是非特に③に注目して頂き、「学歴」より「食歴」の大切さを五感で感じ取って頂きたいと思います。

広島安佐ロータリークラブ　岡本　忠文
（フレンチレストラン「桜下亭」
Café「HAKUSHIMA__R」経営）

表　彰

10月16日に開催されました「地区大会」にて、表彰されました。

10月16日（日）
地区大会in周南

Rotary Club of Hiroshima-ASA

「崇徳高校IAC活動報告」

4月
・比治山公園清掃活動
・絵本作り

5月
・絵本作り

6月
・SUP体験
・指導者研修会
・絵本作り

7月
・献血ボランティア
・River Doの体験補助
・校内献血
・絵本作り

8月
・マカナの子ども達と水鉄砲作り、海遊び
・絵本作り
・猫の譲渡会プラカード作り

9月
・SUP教室
・ギネス世界記録イベント
・絵本作り
・猫の譲渡会（台風により中止）

10月
・文化祭準備
・マナー講習夜間例会

いつも崇徳インターアクトクラブをご支援して頂きありがとうございます。
これからも社会の皆さんの為に役立つよう活動してまいりますのでご支援のほどお願いします。

手作り絵本をケニアの子ども達へ

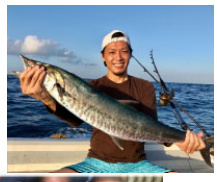
Q、読み書きができない人が世界に何人いるか知っていますか
A、約8億人　（10人に1人）ケニアでは5人に1人
➡教育を受けたくても受けられない子供たちの未来のために、何かしたい！

豊かさを与えてくれる「言葉」を知らない子供たちへ、絵本を届ける

言語学習を始めたばかりのケニアのスラム街の子どもたち

こだわり
〇国内で絵本を印刷するのではなく、データを現地に送り、現地の印刷会社で製本してもらうこと！
〇持ち運びのしやすい手のひらサイズにすること！

ケニアで長年活動されてきた福井さんを通じ、子供たちにできたての絵本を届けていただきます



10,000キロ離れた子どもたちに学ぶ楽しさをとどけたい

資金調達期間：22/09/07 - 22/11/30
目標資金　¥500,000

●プロジェクトの趣旨
子どもの頃の原体験は、その後の将来を大きく左右します。言葉が与えてくれる多様な世界観は、私たちにとっては、何より大切なものだと思っています。だからこそ、私たちは子どもたちに、文字を読める喜びを知ってほしい！と、強く強く、心に願ったのです。しかし、願うだけでなく、私たちは自分たちの手で、ケニアの子どもたちに言葉を贈りたいと思いました。それが、この「子どもたちの手元に手作り絵本を届けるプロジェクト」だったのです。

【リターン一例】
- お礼動画+手紙　¥1,000
- お礼動画+文字きんシール　¥3,000
- お礼動画+白黒絵本データ　¥3,000
- 先着15名様！ お礼動画+絵本 ¥10,000

崇徳 インターアクトクラブ
プロジェクト発起人(メンター):
崇徳学園 インターアクトクラブ
メンバー名
山内、砂川、山口、山住、三浦、大本

返礼を選んで支援しよう！
感謝のしるしに送る品々
ご支援はこちら▶

Rotary Club of Hiroshima-ASA

マナー講習

Menu

Poisson mariné 2sortes et fruits frais 3sortes à la gelée de "Ponzu"
真鯛とカンパチのマリネ　コンソメポン酢ジュレ風味
秋のフルーツ添え

Crème de potiron
南瓜のクリームスープ

Escalope de saumon à la moutardesauce vin blanc
サーモンの薄切り粒マスタード焼き　白ワインソース

Granité de périlla rouge
赤紫蘇のグラニテ

Entrecôte grillée sauce oignon japonais avec légumes d'automne
牛ロース肉のグリエ　和風玉葱ソース　秋野菜添え

Panna cotta au sirop de marron avec figue et poire
パンナコッタ　栗蜂蜜のシロップ風味　無花果と洋梨添え

Pains
パン

Café
コーヒー

２０２２年１０月２０日　リーガロイヤルホテル広島

ニコニコ箱

¥2,000　　累計¥216,000

☆岡本　忠文会員・横手　裕康会員
崇徳高校インターアクトクラブの皆様、本日は、ようこそいらっしゃいました。昨年より企画していたことが、やっと実現できました。本日は、心ゆくまでお楽しみ下さい。

10月20日（木）。

はじめに、松岡会員の「ロータリー財団地区奉仕賞」の表彰が行われました。松岡会員はロータリアンのお手本のような方で、いつも奉仕の精神を学ばせていただいています。

そして、今日は崇徳高校インターアクトクラブの皆さんをお招きして「マナー講習夜間例会」を開催しました。以前より企画はあったものの、コロナ禍の中、延期…延期…でようやく実現することができました。

今回の参加者は、崇徳高校IACの生徒さん13名と顧問の鴨谷先生、そして花野木先生、会員16名の計31名の皆さんで、いつもはちょっと寂しい例会会場が、たくさんのそれもフレッシュな皆さんのおかげで活気に満ちていました。

食事の前に、崇徳高校IACの上半期の活動報告をしていただきました。いつも思うのですが、IACを選ぶことがそもそも素晴らしいし、そこでの活動は本当に頭が下がります。私が高校生の頃はIACというものは無かった（少なくとも私の母校では）と思います。クラブ活動の在り方も時代によって随分変わりますね。

さて、いよいよ「マナー講習」の開始です。始めに会長の挨拶、そして乾杯の音頭。で、この度私がIAC委員長として乾杯の音頭を取らせていただきました。実は生まれて初めてのことで、突然のご指名にちょっとドキドキしましたが何とか務めを果たせました。

「マナー講習」は岡本会長自作の教本を基に進行しました。岡本会長はフレンチレストランを経営されているので、正に一流のお話を聞くことができて為になったと思います。途中、私の「美味しいですか？」という問いかけに、皆さん満面の笑みで「美味しいです！！」と答えてくれました。中にはフランス料理は初めてという生徒さんもいて、ナイフとフォークの使い方を始め様々なマナーを習得していただけたことは本当に良かったと思います。若い内からこのようにマナーを身に付けておけば、将来必ずプラスになります。

最後に、現在、崇徳高校IACでは、「高校生の手作りの絵本をケニアの子どもたちへ！」というプロジェクトを進行しています。詳しくはWebをご覧いただきたいのですが、この活動はクラウドファンディングで資金を募っています。残り40日を切った時点で集まった資金は目標額の約半分です。この報告を見てくださった方は、IACの皆さんの想いと活動内容をご覧になってください。そして、共感してくださった際は、ぜひ、クラウドファンディングにご協力をお願いします。詳しくはこちらから↓
https://spin-project.org/projects/86

崇徳高校IACの皆さん、そして先生、本日はありがとうございました。今日いちばんのごちそうは皆さんのキラキラした笑顔でした。ごちそうさまです！！　　（広報・会報理事　中村　富子）

10月20日（木）　第 1044 回

本日のプログラム
「崇徳高校IACマナー講習夜間例会」
講師　岡本　忠文　会長

幹事報告

1．BOX配布物
・11/17（木）「山彦園訪問例会」ご案内
・12/22（木）「クリスマス夜間家族例会」ご案内
・10月定例理事役員会の議事録
・11月の例会プログラム
・休会のお知らせ（11/24）
・本日のマナー講習の資料
2．例会変更
・広島西南RC「広島廿日市RCとの合同公式訪問例会」
と　き：10月24日(月)12：30～※10/25から変更
ところ：広島サンプラザ
・広島西RC「職場訪問例会」
と　き：10月27日(木)12：30～13：40※同日変更
ところ：W広島＆ブルーライブ広島
・広島南RC「新会員歓迎夜間例会」
と　き：10月28日(金)18：00～※同日変更
ところ：ﾘｰｶﾞﾛｲﾔﾙﾎﾃﾙ広島4Fクリスタルルーム
・広島城南RC「3ＲＣ合同夜間例会」
と　き：10月28日(金)18:30～※同日変更
ところ：ANAｸﾗｳﾝﾌﾟﾗｻﾞﾎﾃﾙ広島3Fオーキット美波
※広島中央RC・広島東南RCは10/31(月)からの変更
・広島陵北RC
「広島市小学生体育連盟陸上教室支援活動」
と　き：10月30日(日)11:30～12:50
※10/26（水）の例会を変更
ところ：エディオンスタジアム広島

３.お知らせ

・11月は、3日が「文化の日」でお休み、10日はむさしで「親睦夜間例会」、17日は山彦園での「訪問例会」、24日は「休会」となっており、こちらリーガロイヤルホテル広島での例会はございません。ニコニコスマイルBOXは12月1日にまとめることといたします。BOX配布物につきましても、12月1日に配布いたします。11月分を郵送して頂きたい方は、事務局までお伝えください。

出席報告　第1041回　9月15日

会員数 19名(内免除1名)　出席率88.89%

出　席	14名	ご来賓	1名
欠　席	5名	ご来客	0名
ﾒｰｸｱｯﾌﾟ	2名	ゲスト	0名

崇徳高校IAC募金

10月20日分

中村会員：今日は美味しいフレンチを楽しんで、少しお勉強して下さい。

道垣内会員：生徒の皆さん、活動報告楽しみにしております。

坂井会員：応援しています。頑張ってください。

松岡会員、黒田会員、山岡会員、三宅会員、谷会員
奥芝会員、山口会員、岡田会員、横手会員、大北会員、岡本会員、横手会員

合計　23,000円
総額　35,000円

2022年10月27日(木)　第1045回例会

3階　安芸の間

会長時間

本日は10月27日。来週は早いもので霜月になり、えびす講もやって参ります。

本日のゲスト卓話は、広島陵北ロータリークラブ米山奨学生、封帆さんです。出身は中国　河南省で現在広島市立大学　漆造形専攻博士3年です。また、カウンセラーである広島陵北ロータリークラブの星月会員もご同席頂いております。宜しくお願い致します。尚、書言う際については後程米山記念奨学担当坂井会員より紹介させて頂きます。

ご存じの様に10月は日本独自の月間として「米山月間」となっておりますので、この月間に因みまして、米山奨学事業の意義を深く認識して戴くために、米山奨学生に卓話をお願いいたしました。

ロータリー米山記念奨学会は、

1. 学業への熱意と研鑽。
2. 異文化の理解とクロスカルチャーの重要性の認識。
3. コミュニケーション能力を磨き人間関係の醸成。

以上三つをポイントとして、日本の大学及び大学院に在籍している外国人留学生に奨学金を支給することにより、将来国際社会で活躍し、出身母国と日本との懸け橋となりうる、優秀な留学生を奨学することを目的としている奨学事業です。

クロスカルチャーコミュニケーションの大切さを身もって体験し、国際理解そしてこれからの国際交流、２国間の架け橋に成って貰いたいと思いますし、必ずや実現してくれると信じております。

米山奨学会は、1953年東京ＲＣが創立者米山梅吉氏の功績を記念して創設した「米山基金」から発展して、1967年財団法人ロータリー米山記念奨学会となりましたが、　2022年現在で、基本金50億円、特別積立金41億円となり、執行機関は理事会で、文科省の管轄下にあります。

もう一つ大事な組織に、学友（元奨学生）を中心とする同窓会組織、米山学友会があります。現在、学友会は日本に33（34ロータリー地区）、海外に9（台湾・韓国・中国・タイ・ネパール・モンゴル・スリランカ・マレーシア・ミャンマー）、計42あります。
学友会の活動も活発で、ロータリアンが各地区の世話人をしています。
これもまた素晴らしい活動の一つだと思います。

最後に、10月24日は世界ポリオデーでした。
1988年には125か国以上の常在国があり、推定で35万人のポリオ患者が発生していましたが、99%以上撲滅され、現在、2022年9月時点では２７名に成っています。ポリオ撲滅のため、これもまた、この現状を維持していく事を深く認識した行動が求められているのではないでしょうか。

先日の地区大会でRI会長代理永田氏が、ビル＆メリンダ・ゲイツ財団がロータリー寄付額の2倍額を寄附する事にも触れ、ロータリー会員がこれまでに21億ドル以上と無数のボランティア時間をこの活動に捧げ、122カ国の30億人近い子どもを、ポリオから守ってきた事、ロータリーのアドボカシー活動は、この取り組みへの各国政府による10億ドル以上の寄付を確保する上で重要な役割を果たし、ポリオ根絶活動が、今アクションを起こすタイミングである事を説かれておりました。この点も皆様方のご理解をお願いいたしたいと思います。
以上で会長時間を終わります。

表　彰

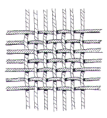
2021-22年度ロータリー財団　バナー表彰

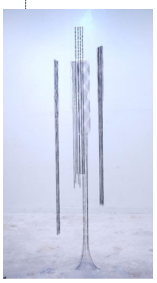
「Every Rotarian,
Every Yeay」

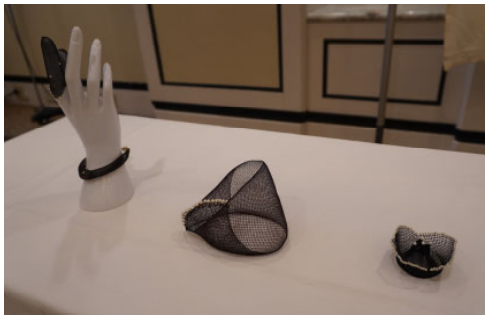
「100%
ロータリー財団
寄付クラブ」

「米山奨学生卓話」
～漆から漆紗まで～
米山奨学生（広島陵北RC）
封帆　様

今年４月から、米山奨学生として、広島陵北ロータリークラブにお世話になっております封帆と申します。出身は中国河南省です。日本に来てもう六年目でした。今は広島市立大学漆造形専攻博士３年生です。
大学 1 年の時に漆専攻に携わるようになり、今年で 10 年目になります。大学 4 年生のとき、日本に留学する機会をいただいたので、迷わず引き受けました。日本の漆文化は9000 年の歴史を持っています。漆器は英語で“japan”とも呼ばれています。これは、日本の漆器が国際的な影響を受けていることを示しています。
日本に来て、漆のさまざまな技法についても学びました。蒔絵、螺鈿、沈金、キンマなどう、どの技法であっても、とても興味深いです。そうして、私も自分の研究したいものを探しました。私の研究テーマは『「漆紗冠」の復元及び表現の可能性について研究』です。漆紗はとても面白い素材です。漆の分野と染織の分野の両方に属しています。繊維の観点からは研究されているが、漆の分野では漆紗の研究にまだ空白がありそうだ。
この新しい素材からさらなる可能性を見出したいと、4 年前から漆紗の修復研究を続けています。漆紗に関する歴史的な情報や研究はほとんどありませんが、私は運良く漆紗ができるまでの全工程を把握することができました。 参考となる詳細な歴史的情報がないため、なんとか同じような結果を出すしかなかったのです。
漆紗は、実際に触れてみると、とてもしなやかな素材です。 漆紗をできたものは、とても柔らかいだけでなく、形もよく保たれます。 ソフトスカルプチャーとして理解する
ことができます。漆紗で何ができるかも楽しみです。 漆紗という新素材が、漆の分野にさらなる可能性をもたらしてくれることを期待します。 また、将来的には漆作家として日本でデビューできればと思っています。このように、中国と日本の漆文化交流に少しでも貢献できればと思います。







ニコニコ箱

￥2,000　　累計￥216,000

☆岡本　忠文会員・横手　裕康会員
封帆様、本日はようこそお越し頂きました。また陵北RCの小川様、星月様、ようこそお越し頂きました。本日は、ごゆっくり楽しんでください。

☆小川　嘉彦様（広島陵北RC）
久しぶりにメークアップに来させて頂きました。

☆星月　光生様（広島陵北RC）
こんにちは、陵北RCから参加させて頂きました星月です。米山奨学生の封さんが卓話させて頂きます。よろしくお願いいたします。

☆青木　幹丸会員
米山奨学生　封帆さん、カウンセラーの星月会員、小川先輩、ようこそ。お話を楽しみにしております。先週21日、22日と、ルヴァンカップ決勝観戦かたがた東京に行ってきました。極めてコストパフォーマンスの高い旅行となったことは、皆様ご存知の通りです。まだ余韻を引きずっています。

☆奥芝　隆会員
昨日、（一般社団法人）広島県法人連合会より、広島国税局長納税表彰をされます、との連絡がありました。ありがたいことです。ただ長くやらせて頂いたお陰でしょう。

10月27日（木）。10月最後の例会です。
はじめに、今週も表彰から。本日は岡本会長のマルチプルポールハリスフェローの表彰です。先週の松岡会員に続き2週連続の表彰！素晴らしいです。

そしてゲスト卓話は、広島陵北ロータリークラブ米山奨学生の封帆さんにお越しいただきました。封帆さんは中国出身の留学生で、広島市立大学芸術学部で漆造形を専攻。『「漆紗冠」の復元及び表現の可能性』ついて研究されています。「漆紗冠」とは、粗い編み物を袋状にとじ合わせ、黒漆を塗って仕上げた帽子で、約1200以上前のものだそうです。私は勿論、会場の皆さんも初めて聞く内容だったのではないでしょうか。

封帆さんは、少し緊張されていたものの、日本語で上手に、ご自身の研究について話してくださいました。さらに、漆紗で作った作品（アクセサリー）も見せていただき、実際に手に取って質問などもさせていただきました。

封帆さんは大学卒業後、漆紗のアクセサリーデザナーになりたいという目標をもっておられます。来年度から広島市立大学を一時休学してドイツに留学されるそうですが、将来は国境を越え、日本・中国そしてヨーロッパなど世界中で活躍されることを期待しています。

封帆さん、そしてご同行いただいた、広島陵北ロータリークラブの星月様、本日はありがとうございました。

私は昨年度、米山奨学生カウンセラーを担当していました。米山奨学生の方々は皆さんとても優秀で素晴らしい研究をされています。広島安佐RCでお世話をしていた羅さんは「農産物の流通・価格形成の解明」の研究をされていました。封帆さんも羅さんも、言葉や文化の違う日本で勉学に励まれています。私は米山奨学生カウンセラーの仕事を通して、奨学生の皆さんに出会い、学ばせていただきました。私たちの活動がこうした若い皆さんの将来に少しでもお役に立てることは、とても素晴らしいことだと改めて思います。

（広報・会報理事　中村　富子）

出席報告　第1042回　9月29日

会員数 19名(内免除1名)　出席率83.33%

出　席	13名	ご来賓	1名
欠　席	6名	ご来客	0名
ﾒｰｸｱｯﾌﾟ	2名	ゲスト	0名

崇徳高校IAC募金

10月分

谷会員・松岡会員・奥芝会員・岡本会員

合計　4,000円

総額　39,000円

10月27日(木)　第 1045　回

本日のプログラム

「米山奨学生卓話」

～漆から漆紗まで～

米山奨学生（広島陵北RC）

封　帆　様

幹事報告

1.休会

・10月31日(火)広島廿日市RC※メークアップ受付有
・11月2日(水)広島東RC※メークアップ受付有
・11月4日(金)広島城南RC
・11月9日(水)広島陵北RC※メークアップ受付有
・11月11日(金)広島南RC※メークアップ受付有

2.お知らせ

・次週11/3（木）は祝日(文化の日)です。次回例会は、11/10（木）「親睦夜間例会」となります。18：30よりむさし土橋店にて開催いたしますので、お間違いのないよう、よろしくお願いいたします。

広島安佐ロータリークラブ
2022年9月個人別出席一覧

☆例会数:3回

☆クラブ出席率:87.04%

☆メーキャップ対象の会合：　9/1(木)9月分定例理事会

No	氏　名	1	15	29		%
1	青木　幹丸	○	○	○		100
2	道垣内　文夫	○	○	○		100
3	八條　範彦	×	×	×		0
4	黒田　七郎	○	△	△		100
5	森本　真治	○	×	×		33
6	松岡　與吉	○	○	○		100
7	三宅　恭次	○	○	○		100
8	中村　富子	◎	○	○		100
9	野村　裕芳	▲	▲	▲		
10	奥芝　　隆	◎	○	○		100
11	大北　茂人	×	○	×		33
12	岡本　忠文	◎	○	○		100
13	岡田　哲也	◎	○	○		100
14	坂井　信教	△	△	○		100
15	谷　　勝美	◎	○	○		100
16	浮田　収	○	○	○		100
17	山口　洋充	◎	○	△		100
18	横手　裕康	◎	○	○		100
19	山岡　稔	◎	○	○		100

◎:ダブル出席者　○:ホーム出席者　△:メーキャップ　×:欠席　▲:出席免除者